

前頭葉機能検査 (FAB)

得点：18点満点

(原典 The FAB: A Frontal assessment battery at bedside. Neurology 55:1621-1626,2000)
翻訳：川島 隆太 (東北大学) 2006 年 6 月改訂

検査日： 200 年 月 日 施設名： _____

被験者名： _____ (男・女) _____ 歳 検査者名： _____

特記事項： _____ ※ 検査不能 [_____]

1. あらかじめこの用紙に被験者の名前を記入しておきます。
 2. 被験者とテスターは、机をはさんで向き合って座ります。
 3. 回答は□に記入します。得点は該当点数に○をつけます。
- 注1 所要時間は一人5～10分程度。必ずストップウォッチを用意します。
注2 “●”印は、口頭による質問または指示を示しています。
注3 検査が不可能な場合は [] にチェック後、プロフィールのみ記入します。

検査 1 番 (概念化)

【練習】

●「これから言う2つのものは、どこが似ているか考えて教えてください。

まずは練習してみますね。『電車』と『バス』 (正答：「乗り物」、「交通機関」)

- ・正答が出た場合は「はい、結構です。次の質問も、同じように教えてください」と言い本番へ。
- ・答えに戸惑ったり、誤答の場合は「電車とバスは両方とも乗り物ですね、次の質問も同じように教えてください。」と言い本番へ。
- ・沖縄県の場合は“『電車』と『バス』”を“『船』と『飛行機』”に言い換える。

【本番】

- ・被験者が複数回答した中に正答が含まれていれば可。正答がでなくても、ヒントをあたえず先に進む。
- ・15秒程度何も反応がない場合は次の質問に進む。

●質問①：「バナナ」と「みかん」は？ (正答：「果物」「フルーツ」「食べ物」)

●質問②：「テーブル」と「いす」は？ (正答：「家具」)

●質問③：「チューリップ」、「バラ」と「菊」は？ (正答：「花」「植物」)

<テスターが被験者の答えた言葉を記録する>

質問①：

質問②：

質問③：

得点	3問正答	3点
	2問正答	2点
	1問正答	1点
	正答なし	0点

検査 2 番

(知的柔軟性)

●質問：「"かきくけこ"の"か"から始まる言葉をできるだけたくさんあげてください。
人の名前・地名などはいけません」

- ・質問を勘違いされた方（"かき""きく""くま"…など）には、「"か"から始まる言葉をできるだけたくさんあげてください」と再度伝える。
- ・人の名前・地名の例は出さない。
- ・最初の5秒間黙っている時は「例えば"かえる"」とヒントをだす。
- ・（開始から）10秒間黙っている時は「"か"から始まる言葉をなんでもよいから言ってみてください」と回答を促す。その後、無言の状態が続いても声をかけずに（開始から）60秒間は待つ。
- ・制限時間は60秒間、時間内に10語言えたら終了。ストップウォッチを使用する。
- ・採点基準…同じ単語のくり返しは1語とカウントし、名詞・形容詞・副詞・動詞のいずれも可。

＜テストターが被験者の答えた言葉を記録する＞

得点	10語以上	3点
	6語以上	2点
	3語以上	1点
	2語以下	0点

検査 3 番

(行動プログラム)

●質問：「あなたは右利きですか、左利きですか」

- ・被験者の利き手を聞き、右利きの場合は、テストターは左手で（被験者とテストターが鏡の状態になるように）以下（1）～（3）を行う。下記は被験者が右利きの場合を想定。

●指示①：「私がやることをよく見ていてください」

- ・テストター自身の右手を、手のひらを上にして机の上に置き、
 - （1）自分の左手をグーにして、自分の右手のひらをたたく
 - （2）次にその左手をパーにして（手刀で）、自分の右手のひらをたたく
 - （3）最後に、左手をパーのまま、手のひら同士を合わせる（拍手）
- 以上の連続動作を1組とし、それを3回くり返す。

●指示②：「では、右手を使って同じことをしてみましょう。まず、私と一緒にやります。次にひとりでやってみますのでよろしくお願いします。それでは一緒にやってみましょう」

- ・被験者と一緒に、（1）～（3）の連続動作を3回くり返す。
- ・指示②ができない場合でも指示③に進める。

●指示③：「今度はひとりでやってみましょう」

- ・途中でやめた人には「もう少し続けてください」と連続動作をくり返すように促す。
- ・途中で間違えた時点で終了する。

得点	ひとりで連続動作を6回以上できたとき	3点
	ひとりで連続動作を3回以上できたとき	2点
	一人ではできないが（指示②で）テストターと一緒に連続動作を3回できたとき	1点
	それ以外	0点

検査 4 番

(反応の選択)

【練習】

●指示①：「次のゲームは2つの約束があります。

1つ目の約束は、私が指で1回ポンとたたいたら、続けて自分の指で2回ポンポンとたたいてください。わかりましたか？」

- ・被験者が指示を理解したかどうか確認して練習する。テスターが指を動かしてからは教示をくり返さない。
- ・ポン・ポン・ポン（1-1-1）とタップし、1回ごとに被験者に続けて指でタップさせる。
(正解は2-2-2)
- ・指示①ができなかったら指示②には進まずに0点とする。

●指示②：「2つ目の約束は、私が指で2回ポンポンとたたいたら、自分の指で1回ポンとたたいてください」

- ・被験者が指示を理解したかどうか確認して練習する。指を動かしてからは教示をくり返さない。
- ・ポンポン・ポンポン・ポンポン（2-2-2）と指でタップし、1回ごとに被験者に続けて指でタップさせる。
(正解は1-1-1)
- ・本番前に、約束の確認を求められても「思った通りでいいですよ」などと答え、約束の確認をしない。
- ・指示②ができなかったら指示③には進まずに0点とする。

【本番】

●指示③：「では今の2つの約束を使って、私に続いて、自分の指でたたいてください」

- ・テスターは下記の回数を指でタップし、1回ごとに被験者に続けて指でタップさせる。
- ・途中で間違えてもやり直させず、最後まで課題を終わらせる。

1 - 1 - 2 - 1 - 2 - 2 - 2 - 1 - 1 - 2 (計10の連続動作)

- ・上記□に被験者のタップ数を記録しながら検査を行うとよい。
(正答：2-2-1-2-1-1-1-1-2-2-1)

得点	失敗なし	3点
	失敗2回まで	2点
	失敗3回以上	1点
	テスターと同じ回数指でタップしてしまうことが続けて4回以上ある	0点
	全くたたかない、全て1回(2回)たたき、ただたたいている	0点

検査 5 番

(GO/NO-GO)

【 練習 】

●指示① 「今度は約束が変わります。1つ目の約束は、私が指で1回ポンとたたいたら、同じように自分の指で1回ポンとたたいてください」

- ・被験者が指示を理解したかどうか確認して練習する。テスターが指を動かしてからは教示をくり返さない。
- ・ポン・ポン・ポン(1-1-1)とタップし、1回ごとに被験者に続けて指でタップさせる。(正解は1-1-1)
- ・指示①ができなかったら指示②には進まずに0点とする。

●指示② 「2つ目の約束は、私が指で2回ポンポンとたたいたら、あなたはたたかないでください」

- ・被験者が指示を理解したかどうか確認して練習する。指を動かしてからは教示をくり返さない。
- ・ポンポン・ポンポン・ポンポン(2-2-2)と指でタップする。(正解は0-0-0)
- ・本番前に、約束の確認を求められても「思った通りでいいですよ」などと答え、約束の確認をしない。
- ・指示②ができなかったら指示③には進まずに0点とする。

【 本 番 】

●指示③ 「では、今の2つの約束を使って、私に続いてやってみましょう」

- ・テスターは下記の回数を指でタップし、1回ごとに被験者に続けて指でタップさせる。
- ・途中で間違えてもやり直させず、最後まで課題を終わらせる。

1 - 1 - 2 - 1 - 2 - 2 - 2 - 1 - 1 - 2

- ・上記□に被験者のタップ数を記録しながら検査を行うとよい。

(正答：1-1-0-1-0-0-0-1-1-0)

得点	失敗なし	3点
	失敗2回まで	2点
	失敗3回以上	1点
	テスターと同じ回数指でタップしてしまうことが続けて4回以上ある	0点
	全くたたかない、全て1回(2回)たたく、ただたたいている	0点

検査 6 番

(自主性)

●指示①：「手のひらを上にして、両手を机の上ののせてください」

●指示②：「私の手を握らないでください」

- ・テスターは、目をあわせず何も言わずに、自分の両手を被験者の手のそばによせ、手のひらを合わせるようにそとつけ、手を握らないでじっとしてられるか1~2秒間観察する。
- ・もし握ってしまった場合には、「私の手を握らないでください」と、もう一度言ってから、同じ動作をくり返す。

得点	被験者がテスターの手を握らなかった場合	3点
	被験者が躊躇して、どうしたらよいのか聞いた場合	2点
	被験者が躊躇せずにテスターの手を握った場合	1点
	注意されたあとにもテスターの手を握った場合	0点